

回心

知っておきたいキリスト教のことば (34)

「かいしん」という言葉を聞くと、わたしの頭には「改心」という漢字が浮かびます。「改心」の意味を辞書で調べると、「今までの行いを反省し、心を改めること」というように書いてありました。

しかし聖書で「かいしん」とは、「回心」という漢字を使う言葉を指します。それではこの「回心」とは、どのような意味を持つのでしょうか。

新共同訳聖書では、旧約聖書に「回心」という言葉が出来てくるのは、ネヘミヤ記 9 章 26 節だけです。そして新約聖書では「回心」という訳では一度も出ず、「悔い改め」と訳されることが多いようです。ただし使徒言行録 9 章 1～19 節にある物語には、「サウロ（パウロ）の回心」という小見出しが付けられています。その内容を少し見てみましょう。



サウロは当時、ファリサイ派の一員としてキリスト者を迫害していました。しかしダマスコという場所に行く途中、天からの光に照らしだされ、復活の主（イエス様）に出会います。それ以降彼は、イエス様に従う者へと変えられたのです。

キリスト者を迫害する者から、キリストに従う者へと変わった。このことは単に心を改めただけではなく、生き方そのものが 180 度グルンと方向転換させられた出来事です。これを「回心」と呼ぶのです。

神さまから離れていた人が、神さまに立ち返ること。聖書には他にも「放蕩息子のたとえ（ルカ 15：11～32）」などが、回心物語を伝えています。

あなたの「回心」は、どのような物語でしたか。もう神さまと出会い、神さまに向き直って歩んでいますか。

次回は「外典」です。お楽しみに。